

18歳以上の身体拘束率

【指標の説明】

身体拘束は患者の自由を制限することであり、尊厳ある生活を阻むものですが、患者の状態によって転倒・転落の恐れや必要なチューブ等を自己抜去してしまう等の事故を防ぐために最終手段として行うことがあります。身体拘束を始める前に抑制の必要性を十分考察し、抑制を回避できないか多職種でカンファレンスすることで身体拘束を最小限にするよう努めています。

＜身体拘束の定義＞

身体拘束は、抑制帯等、患者の身体又は衣服に触れる何らかの用具を使用して、一時的に当該患者の身体を拘束し、その運動を抑制する行動の制限をいうこと

厚生労働省「令和6年度診療報酬改定の概要」より

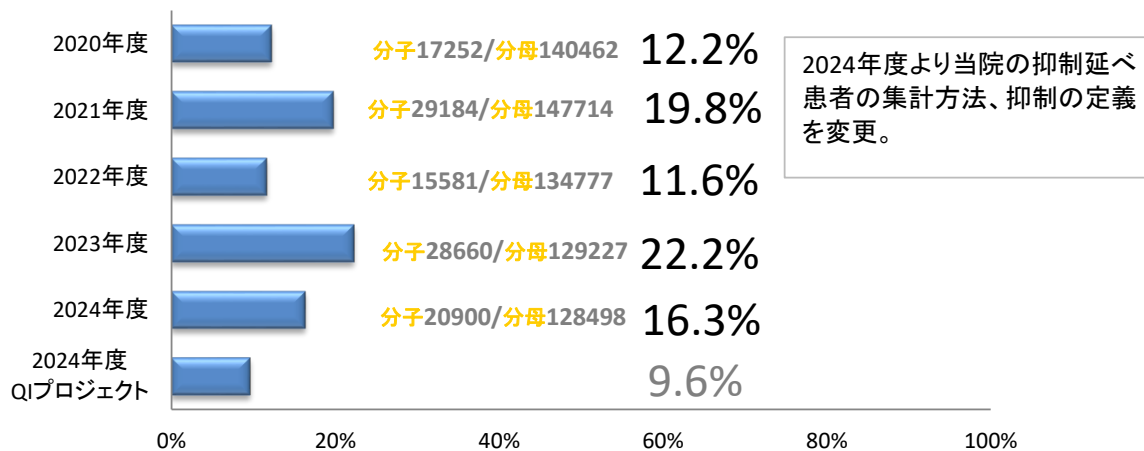
【定義】

日本病院会「QIプロジェクト」の定義に準じています。

分子 分母のうち（物理的）身体拘束を実施した患者延べ数

分母 18歳以上の入院患者延べ数

岐阜県立多治見病院の推移



【改善への取組み】



PDCA最終更新: 令和7年